

コンピュータ製造工場クリーンルームの空調

この工場では、パーソナルコンピュータの製造を行っており、イメージスキャナ組立工程のクリーンルームでは品質管理のため年間冷房を行っています。一部の機械付近で温度が上昇し、空調設備の増強が必要となったため、分散型空調ユニットの増設を計画しました。

そこで一部のライン付近を間仕切りして氷蓄熱空調を採用し、温度条件の改善を図るとともに、セントラル空調の負荷の軽減も図ることができました。

【改善効果】

- ・ 産業用蓄熱調整契約の適用により電気料金が低減した。（約14万円/年）
- ・ 空調設備の個別分散により、温度環境が改善された。

改善費用	改善効果	回収年数
37万円	14万円/年	約2.6年

非蓄熱式空調との差額分のみ（補助金適用後）

【設備概要】

産業用蓄熱調整契約適用負荷：24kW

- ・ 氷蓄熱ビル用マルチエアコン：12kW×2台
（ピークカット型）

蓄熱槽：4.4m³×2

空調面積：800m²（間仕切り部分）

システム図

